

地域課題に取り組んでいます

～ 市民活動団体紹介 ～

問い合わせ 自治振興課 ☎2142

市では、市民活動団体が地域の課題を解決するために提案・実施する事業を募集し、助成金を交付しています。

平成26・27年度に市民活動助成事業の対象となった団体を紹介します。

特定非営利活動法人 広島ジャンボリー・プロジェクト

(代表者 前田 満樹)

地域の課題

「文化の町大竹」ですが、市民が積極的に自分達の活動を発表できる場所がありません。個々の活動はしても、お互いの横のつながりが希薄になっています。

活動の目的

新たに市民の創作活動が発表できる場所を提供し、共に企画、サポートすることで市民相互の交流を図り、文化活動のレベルアップを目指します。音楽を中心にまちづくり、人づくり、にぎわいづくりを行うことで、地域の活性化に寄与します。

活動の内容

大竹駅前をにぎわそうと、駅前商店の2階の空き店舗で月に1～2回音楽ライブ（「バンブーライブ」）を中心に企画開催しています。

バンブーライブは無料で鑑賞できます。回を追うごとに来場者が増え、通りがかりで2階を訪れる人も多くなっています。会場は満員の状態が多く、出演者は2階での発表以外にも1階軒先で演奏を行っています。会場は、飲食持ち込み可能であり、飲んで食べて鑑賞できるという楽しい空間が人気を集めています。

その他にも市民参加による市民劇制作や音響ワークショップなど様々な企画を開催し、新たな大竹のにぎわいを発展させています。

活動の財源

ライブ参加者からの「参加料」が主な財源となっています。

助成事業（助成金）による効果

バンブーライブなど地域活性化イベントの活動資金として活用しました。助成金を頂いたことで、市の他の行事にも興味を持つようになりました。

今後の予定、将来的に取り組みたい課題

大竹駅前から他の地域にもにぎわいを広げたいと考えています。そのためにも同じような活動をされている方々となつなかりをつくり、互いに刺激し合い、協力して企画できたらと思います。



《バンブーライブの様子》



大竹山の会

(代表者 田室浩一郎)

地域の課題

小方・玖波地区は、登山やハイキングに適した環境に恵まれています。しかし、手軽なガイドマップがないため道に迷う方も多く、健康志向から登山がブームとなっているにも関わらず、家族連れの登山者やハイカーが少ないのが現状です。

活動の目的

登山やハイキングなど、自然と親しむことによって会員の親睦を図るとともに、体力の増進に努めています。また、市民の健康登山に役立つ登山地図の製作と配布活動を通じて、健康づくりとスポーツ振興に役立ちます。

活動の内容

県内の他、山口県や島根県の日帰りができる山を中心に登山をしています。最近では、「大竹いろめぐり」に紹介されている行者山・傘山や、近郊の里山の登山道を整備しています。

今回の助成事業では、小方地区・玖波地区で、市民が道に迷わず、気軽に登山やハイキングを楽しめる登山コース地図「大竹ハイキング登山ルートマップ」を作製しました。市の窓口や三倉岳の管理棟、広島市の施設などで配布したほか、登山ルートで出会った登山者にも手渡しで配りました。また、地図製作に合わせて、コース上に「県産材道標」を設置し、登山道の整備（個別案内板の設置や草刈）を行いました。

活動の財源

会員からの年会費が主な財源となっています。登山などの個別行事を運営する費用は、その都度、参加する会員が負担しています。

助成事業（助成金）による効果

「大竹ハイキング登山ルートマップ」は各窓口で好評との声をいただきました。また、登山道の整備も相まって、市外からの登山者が増加したように感じられます。

今後の予定、将来的に取り組みたい課題

登山・ハイキングコースを継続的に整備し、健康志向の登山者やハイカーを増やしたいと思います。

また、阿多田島島内ハイキングや、西国街道史跡めぐりなど、自然に触れながらのウォーキングなどに魅力を感じています。関係するサークルと協力して企画したいと思っています。



《大竹ハイキング登山ルートマップ》